

令和 2 年度

函南町教育委員会

自己点検・評価報告書

令和 4 年 1 月

函南町教育委員会

目 次

はじめに	1
第1 令和2年度函南町教育委員会の活動等における点検評価の対象	2
1 教育委員会の活動	2
2 教育委員会が管理・執行する事務	2
3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務	3・4
第2 函南町教育委員会の自己点検・評価シート	5～14
第3 学識経験者による評価	15～17
第4 総合評価	18

はじめに

平成20年4月に施行された地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定に基づき、函南町教育委員会では、効果的な教育行政の推進に資するため、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について自己点検及び評価を実施し、平成21年3月に最初の報告書をまとめた。以来、毎年度自己点検及び評価を実施している。

本年度は、令和2年度中の函南町教育委員会の事務の管理及び執行状況について14回目の自己点検及び評価を実施した。

この報告書は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定により、令和2年度の教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、自己点検及び評価の結果を報告するものである。

令和4年1月

函南町教育長 久保田 浩子

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

第1 令和2年度函南町教育委員会の活動等における点検・評価の対象

1 教育委員会の活動

函南町教育委員会では、毎月1回の定例教育委員会を開催し、令和2年度は、年12回の定例会を開催した。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴い、年2回の総合教育会議を開催した。

各小・中学校、幼稚園及び生涯学習関係の施設訪問を実施した。

※ 函南町教育委員会主催の成人式、卒業式、入学式、運動会等行事への出席を例年通り予定していたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響で各種事業の中止や縮小により出席を見合わせる事となった。

2 教育委員会が管理・執行する事務

教育委員会が管理執行する事務は、昭和31年函南町教育委員会規則第2号「教育長に対する事務委任規則」第1条に規定されている以下に示す17項目である。

- (1) 学校教育又は社会教育に関する一般方針を定めること。
- (2) 学校・公民館・文化センター及び図書館の設置及び廃止を決定すること。
- (3) 1件80万円を超える教育財産の取得を申出ること。
- (4) 県費負担教職員の懲戒及び県費負担教員たる校長の任免その他の進退について内申すること。
- (5) 県費負担教職員のサービスの監督の一般方針を決めること。
- (6) 前2号に定めるもののほか人事の一般方針を定め及び懲戒を行うこと。
- (7) 県費負担教員以外の校長及び図書館長の任免を行うこと。
- (8) 教育委員会事務局及び教育機関の職員の任免を行うこと。
- (9) 学校・公民館・文化センター及び図書館の敷地を選定すること。
- (10) 1件130万円以上の工事の計画を策定すること。
- (11) 教育委員会規則の制定又は改廃を行うこと。
- (12) 教育予算その他議会の議決を経るべき議案について意見を申出ること。
- (13) 法令及び条例に定めのある附属機関等の委員の任命又は委嘱及び解任又は解職を行うこと。

- (14) 校長・教員その他の教育関係職員の研修の一般方針を定めること。
- (15) 学齢児童生徒の就学すべき学校の区域を設定し又はこれを変更すること。
- (16) 教科用図書の採択に関すること。
- (17) 文化財の指定及び解除に関すること。

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

函南町総合教育会議において策定された「教育大綱」に基づき、令和2年度はこれを実施した。なお、「令和2年度教育要覧」に示されている函南町教育行政の方針を以下に記す。

(1) 知性を高め、魅力ある学校づくりの推進

◆学びに向かう力を伸ばす学習

- (ア) 赤ちゃんから高齢者までの読書活動を推進し、生涯学習のまちづくりに向け、学びの機会の充実やボランティア等指導者の養成と活用を図ります。
- (イ) 児童生徒の情報活用能力の育成に向け、ICTを活用した教育活動を推進し、授業の改善を図ります。

◆勤労観・職業観や郷土愛を育む教育

- (ア) 学校・地域・企業等が連携し、職場体験等の活動キャリア教育を進め、児童生徒一人一人に望ましい勤労観、職業観を育成します。また、中高連携により確かな進路指導に取り組みます。
- (イ) 郷土の歴史や文化に対する誇りや愛着を育むため、文化財等を活用した地域に関する教育を推進します。
- (ウ) スポーツ・健康長寿フェスタを実施し、町民の健康づくりを推進します。

◆質の高い教育と教職員の心身の健康を保持増進する環境整備

- (ア) 教職員の長時間勤務の改善を図ります。
- (イ) 心身ともに健康で「頼もしい教職員」の育成を図り、不祥事根絶に努め、共生社会を支える人権尊重の教育と啓発に取り組みます。
- (ウ) 教職員の大量交代期を迎え、教職員の資質向上が重要な課題となっています。教職員としての専門性やスキルが求められる中、授業力向上をはじめとする諸課題に対応する研修を行います。
- (エ) 部活動を支援する外部指導者の活用等、運動部の部活動の在り方と支援について研究します。

◆子供たちの命を守る安全・安心の確保と教育環境の整備

- (ア) 子供自らが判断し、危険回避能力を身に付ける防災教育、安全教育を実施します。
- (イ) 安心・安全な学校施設の整備のために、教育環境を改善する取り組みを進めます。

◆幼児教育の質の向上

- (ア) 家庭のニーズや保護者の状況に応じた支援により家庭の教育力向上を図り、健康づくり課、子育て支援課、教育委員会等、関係機関と連携し、幼児期教育の充実に努めるために、「幼児教育センター」を新たに設置し、小・中学校への円滑な接続を図ります。

◆特別支援教育の推進

- (ア) 「知・徳・体」のバランスのとれた「生きる力」の育成に取り組み、発達障がい等を含めた幼児、児童生徒の教育的ニーズに対応し、教育の各ステージで指導と支援の充実に努めます。
- (2) 未来を拓く多様な人材の育成
 - ◆多様な学習機会の提供
 - (ア) 新しい時代を展望した教育行政の推進に向けて、実効性のある施策が展開できるよう各部局と一層の連携を図ります。
 - (イ) 地域の教育力を園・学校に生かすために「函南町地域学校協働本部」に地域学校協働活動推進委員を配置し、専門性をもったボランティアの発掘や紹介に努めます。
- (3) 社会総がかりで取り組む教育の実現
 - ◆学校と地域の連携・協働の充実
 - (ア) 園・学校における教育推進の重点に「交流」の視点を位置付け、「多様な学び」や「体験活動」の充実と活性化を図ります。
 - (イ) 各区等での地域活動に児童生徒を積極的に参加させ、幅広い交流活動を通して、互いの理解と信頼を深め合い、成長できる教育風土を醸成します。
 - (ウ) 平成29年度に指定した丹那小学校、桑村小学校の取り組みを元に小中学校全7校を「コミュニティスクール」とします。地域とともにある学校づくりをテーマに、目標やビジョンを共有し、地域と一体となって子供たちの豊かな成長を育む教育活動を推進します。
 - (エ) 地域共同学校活動推進員を置き、コミュニティスクールと地域学校協働本部事業のコーディネートを行います。
 - ◆チームとして児童生徒を支援する体制づくり
 - (ア) 児童生徒が自他を大事にする態度や行動力を育み、いじめ、不登校等の解消、家庭に問題を抱える児童生徒への対応のため、教育相談体制の充実や教職員・学校の対応力向上に努めます。
 - (イ) 「函南町いじめ防止等生徒指導連絡協議会条例」および「同運営要綱」に則し、いじめの未然防止を第一目標とし、早期発見、早期対応、早期解決を図ります。

第2 函南町教育委員会の自己点検・評価シート

自己点検・評価の考え方

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定により、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について自己点検・評価を行う。点検・評価シートでは、教育委員会の責任体制を明確化するため、「教育委員会の活動」、「教育委員会が管理・執行する事務」、「教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」に分けた。「教育委員会の活動」では教育委員会会議に係る事項や教育委員研修などの教育委員自身が行っている活動についての点検・評価を行う。「教育委員会が管理・執行する事務」については、函南町教育委員会規則に則り、教育委員会の責任により実行すべき事項について自ら点検を行う。「教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」については、『令和2年度教育要覧』に示されている教育行政の方針「函南町教育大綱」の実現に向けてに基づき、目標、基本方針、施策の柱を設定し点検・評価を行う。

《マトリクス表の見方》
(実現度) (重要度)
A … 概ね達成 A … 非常に重要
B … もう少しで達成 B … 重要
C … 普通 C … 普通

大項目1 教育委員会の活動

中項目	小項目	マトリクス表				点検・評価
(1) 教育委員会の会議の運営改善	①教育委員会会議の開催回数	実現度↑	A		★	教育委員会の中核となる会議であるため重要度はAとした。 実現度については開催数と議事内容を指標とした。開催数では、定例教育委員会を毎月開催し、各議題について協議した。必要な回数を満たしたと判断し、実現度をAとした。
			B			
			C			
			C B A			
			→重要度			
	②教育委員会会議の運営上の工夫	実現度↑	A		★	教育委員会の会議運営上のことなので重要度はAとした。 会議だけではなく学校等教育施設訪問を実施して教育現場の実情も把握しており、実現度をAとした。
			B			
			C			
			C B A			
			→重要度			
(2) 教育委員会の会議の公開、保護者や地域住民への情報発信	①教育委員会会議の傍聴者の状況	実現度↑	A		★	教育委員会の活動を公開していくことは重要なことであるので、重要度はAとした。 令和2年度の傍聴者はなかったが、会議の予定及び傍聴できる旨の説明を町ホームページ上で公開しているため実現度はAとした。
			B			
			C			
			C B A			
			→重要度			
	②議事録の公開、広報・公聴活動の状況	実現度↑	A		★	議事録の公開は、会議の公開に付随する事項であるので、重要度をAとした。 議事録は町ホームページ上で公開しているため実現度をAとした。
			B			
			C			
			C B A			
			→重要度			
(3) 教育委員会と事務局との連携	○教育委員会と事務局との連携	実現度↑	A		★	教育行政を進めるうえで、教育委員会と事務局との連携は非常に重要であるため、重要度はAとした。 教育委員会と事務局の連携により教育委員会会議の場において議事はスムーズに進行しており、会議以外の場においても教育委員会と事務局の連携はとれている。以上のことから実現度はAとした。
			B			
			C			
			C B A			
			→重要度			

大項目 1 教育委員会の活動

中項目	小項目	マトリクス表	点検・評価																				
(4) 教育委員会と首長の連携	○教育委員会と首長との意見交換会の実施	実現度↑ <table><tr><td>A</td><td></td><td></td><td>★</td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="4">C B A</td></tr><tr><td colspan="4">→重要度</td></tr></table>	A			★	B				C				C B A				→重要度				町長・町長部局との連携は必要であり重要度はAとした。 地方教育行政の組織及び運営に関する法律により開催が義務付けられている、教育委員と町長による総合教育会議も令和2年度は2回実施し、町の教育の方向性について協議がなされた。以上のことから実現度はAとした。
		A			★																		
B																							
C																							
C B A																							
→重要度																							
(5) 教育委員の自己研鑽	○研修会への参加状況	実現度↑ <table><tr><td>A</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td><td>★</td></tr><tr><td>C</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="4">C B A</td></tr><tr><td colspan="4">→重要度</td></tr></table>	A				B			★	C				C B A				→重要度				教育委員が自己の研修を行って、意識向上に努めることの意義は大きく重要度はAとした。 実現度は、研修の参加回数を指標とした。例年であれば県教育委員会主催の研修会に出席し、田方地区2市1町教育委員意見交換会にも参加しているが、新型コロナウイルス感染症感染防止対策により中止。また、教育委員会定例会時に教育長を中心とした自主的な研修も行っており、実現度はBとした。
		A																					
B			★																				
C																							
C B A																							
→重要度																							
(6) 学校及び教育施設に対する支援・条件整備	①学校訪問	実現度↑ <table><tr><td>A</td><td></td><td></td><td>★</td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="4">C B A</td></tr><tr><td colspan="4">→重要度</td></tr></table>	A			★	B				C				C B A				→重要度				教育の中心である児童・生徒たちが学ぶ学校・園への訪問は、教育現場を把握する上で必要不可欠であり重要度をAとした。 実現度は訪問回数を指標とした。令和2年度は教育委員会開催前に各校・園を訪問して校（園）長との意見交換、授業参観、施設設備の状況確認、給食の試食を行った。町内小学校5校、中学校2校、町立幼稚園6園及び関連施設として町立保育園1園を訪問した。 教育現場における施設の状態、授業等の状況などを理解するためにも、今後も新型コロナウイルス感染症感染防止対策に配慮し実施すべき事業と位置付ける。
		A			★																		
	B																						
	C																						
C B A																							
→重要度																							
	②所管施設の訪問	実現度↑ <table><tr><td>A</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td><td>★</td></tr><tr><td>C</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="4">C B A</td></tr><tr><td colspan="4">→重要度</td></tr></table>	A				B			★	C				C B A				→重要度				社会教育施設への訪問は重要度が高くAとした。 令和2年度は、社会教育及び社会体育施設等は、新型コロナウイルス感染症感染防止対策に配慮し仏の里美術館、かなみ知恵の和館と施設を限定した視察を行ったことから実現度はBとした。 生涯学習等関係施設の運営状況や管理などを理解するためにも、今後も新型コロナウイルス感染症感染防止対策に配慮し実施すべき事業と位置付ける。
		A																					
B			★																				
C																							
C B A																							
→重要度																							

第2 函南町教育委員会の自己点検・評価シート

自己点検・評価の考え方

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定により、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について自己点検・評価を行う。点検・評価シートでは、教育委員会の責任体制を明確化するため、「教育委員会の活動」、「教育委員会が管理・執行する事務」、「教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」に分けた。「教育委員会の活動」では教育委員会会議に係る事項や教育委員研修などの教育委員自身が行っている活動についての点検・評価を行う。「教育委員会が管理・執行する事務」については、函南町教育委員会規則に則り、教育委員会の責任により実行すべき事項について自ら点検を行う。「教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」については、『令和2年度教育要覧』に示されている教育行政の方針「函南町教育大綱」の実現に向けてに基づき、目標、基本方針、施策の柱を設定し点検・評価を行う。

《マトリクス表の見方》
(実現度) (重要度)
A … 概ね達成 A … 非常に重要
B … もう少しで達成 B … 重要
C … 普通 C … 普通

大項目 2 教育委員会が管理・執行する事務

中項目	マトリクス表	点検・評価																
(1) 学校教育又は社会教育に関する一般方針を定めること	実現度↑ <table><tr><td>A</td><td></td><td></td><td>★</td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr></table> →重要度	A			★	B				C					C	B	A	教育に関する方針を定めることは重要度が高くAである。 「第六次函南町総合計画」の基本理念である「環境・健康・交流都市函南 ～住んでよし 訪れてよし 函南町～」に基づき、令和元年度の函南町教育目標を「豊かな感性と『生きる力』をもつ子どもの育成」と定めた。また、総合教育会議において令和2年度からの新たな教育大綱を定めたため、実現度はAとした。
A			★															
B																		
C																		
	C	B	A															
(2) 学校・公民館・文化センター及び図書館の設置及び廃止を決定すること	実現度↑ <table><tr><td>A</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr></table> →重要度	A				B				C					C	B	A	令和2年度は設置及び廃止はなかった。
A																		
B																		
C																		
	C	B	A															
(3) 1件80万円を超える教育財産の取得を申し出ること	実現度↑ <table><tr><td>A</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr></table> →重要度	A				B				C					C	B	A	令和2年度に該当する備品の購入はなかった。
A																		
B																		
C																		
	C	B	A															
(4) 県費負担教職員の懲戒及び県費負担教員たる校長の任免その他の進退について内申すること	実現度↑ <table><tr><td>A</td><td></td><td></td><td>★</td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr></table> →重要度	A			★	B				C					C	B	A	県費負担教職員の人事異動の内申について、2月定例教育委員会で審議した。重要度Aとし、実現度Aとした。
A			★															
B																		
C																		
	C	B	A															
(5) 県費負担教職員のサービスの監督の一般方針を定めること	実現度↑ <table><tr><td>A</td><td></td><td></td><td>★</td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr></table> →重要度	A			★	B				C					C	B	A	教職員の不祥事については、世間の注目度も高く、重要度をAとした。年度当初や必要な都度、各学校長より教職員へサービスについての指導を実施しており、実現度もAとした。 なお、特段不祥事は発生していない。
A			★															
B																		
C																		
	C	B	A															

大項目 2 教育委員会が管理・執行する事務

中項目	マトリクス表	点検・評価																
(6) (4)、(5)のほか人事の一般方針を定め及び懲戒を行うこと	実現度↑ <table><tr><td>A</td><td></td><td></td><td>★</td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr></table> →重要度	A			★	B				C					C	B	A	県費負担教職員の人事の一般方針について、2月定例教育委員会で審議した。 重要度Aとし、実現度Aとした。
A			★															
B																		
C																		
	C	B	A															
(7) 県費負担教員以外の校長及び図書館長の任免を行うこと	実現度↑ <table><tr><td>A</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr></table> →重要度	A				B				C					C	B	A	令和2年度の新たな任命をしていない。
A																		
B																		
C																		
	C	B	A															
(8) 教育委員会事務局及び教育機関の職員の任免を行うこと	実現度↑ <table><tr><td>A</td><td></td><td></td><td>★</td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr></table> →重要度	A			★	B				C					C	B	A	令和2年度の新たな事務局及び教育機関職員の任免について、3月定例教育委員会で承認した。 重要度、実現度ともAとした。
A			★															
B																		
C																		
	C	B	A															
(9) 学校・公民館・文化センター及び図書館の敷地を選定すること	実現度↑ <table><tr><td>A</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr></table> →重要度	A				B				C					C	B	A	令和2年度は新たな敷地選定はしていない。
A																		
B																		
C																		
	C	B	A															
(10) 1件130万円以上の工事の計画を策定すること	実現度↑ <table><tr><td>A</td><td></td><td></td><td>★</td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr></table> →重要度	A			★	B				C					C	B	A	令和2年度教育費当初予算要求の中で、安心、安全、快適な学習環境を提供するため、必要な工事計画について2月定例教育委員会で審議した。 重要度Aとし、実現度Aとした。
A			★															
B																		
C																		
	C	B	A															
(11) 教育委員会規則の制定又は改廃を行うこと	実現度↑ <table><tr><td>A</td><td></td><td></td><td>★</td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr></table> →重要度	A			★	B				C					C	B	A	以下の規則等の制定、改正を行った。 函南町教育研究会事業費補助金交付要綱の一部改正、函南町立中学校部活動等振興会事業費補助金交付要綱の一部改正、函南町社会教育団体運営費等補助金交付要綱の一部改正、函南町学校運営協議会規則の一部改正、かなみ仏の里美術館の設置、管理等に関する条例施行規則の一部を改正する規則、函南町史跡箱根旧街道災害復旧整備委員会設置要綱の制定を審議し承認した。 重要度Aであり、実現度Aとした。
A			★															
B																		
C																		
	C	B	A															
(12) 教育予算その他議会の議決を経るべき議案について意見を申出ること	実現度↑ <table><tr><td>A</td><td></td><td></td><td>★</td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr></table> →重要度	A			★	B				C					C	B	A	令和2年度第4号補正予算(5月定例教育委員会)、令和元年度決算報告、令和2年度第5号補正予算(8月定例教育委員会)、令和2年度第7号補正予算(11月定例教育委員会)、令和3年度当初予算、令和2年度第9号補正予算(2月定例教育委員会)を審議し承認した。新型コロナウイルス感染症地方創生臨時交付金や公立学校情報機器整備費補助金を活用するなど町の財政負担にも配慮した予算措置を実施した。よって重要度Aとし、実現度Aとした。
A			★															
B																		
C																		
	C	B	A															

大項目 2 教育委員会が管理・執行する事務

中項目		マトリクス表	点検・評価																				
(13) 法令及び条例に定めのある附属機関等の委員の任命又は委嘱及び解任又は解職を行うこと	実現度↑	<table><tr><td>A</td><td></td><td></td><td>★</td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr><tr><td colspan="4">→重要度</td></tr></table>	A			★	B				C					C	B	A	→重要度				函南町社会教育委員、函南町公民館運営審議会委員、函南町放課後子どもプラン運営委員、函南町立図書館協議会委員、函南町学校運営協議会委員、函南町就学支援委員、函南町結核対策委員、函南町いじめ問題対策専門委員、函南町スポーツ推進審議委員、函南町放課後子ども教室コーディネーター、函南町立中学校学校医、函南町立幼稚園薬剤師、いじめ防止等生徒指導連絡協議会委員、函南町スポーツ推進委員、函南町文化財保護審議会委員、かなみ仏の里美術館運営審議会委員、函南町史跡箱根旧街道災害復旧整備委員会委員の委嘱を行った。 重要度A、実現度Aとした。
A			★																				
B																							
C																							
	C	B	A																				
→重要度																							
(14) 校長、教員その他の教育関係職員の研修の一般方針を定めること	実現度↑	<table><tr><td>A</td><td></td><td>★</td><td></td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr><tr><td colspan="4">→重要度</td></tr></table>	A		★		B				C					C	B	A	→重要度				教育大綱2の令和2年度 教育推進の重点を定め、(2)学校教育の充実イ目標の重点内容に基づいて次の研修を実施した。 校長会、いじめ防止等生徒指導連絡協議会、不登校連絡協議会の会合内での研修、また初任者研修会、教育の情報化研究推進委員会、教務主任研修会、特別支援コーディネーター研修会、支援員研修会等各種研修を実施し各業務のスキルアップに努めた。 重要度Bとし、実現度Aとした。
A		★																					
B																							
C																							
	C	B	A																				
→重要度																							
(15) 学齢児童生徒の就学すべき学校の区域を設定し、又はこれを変更すること	実現度↑	<table><tr><td>A</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr><tr><td colspan="4">→重要度</td></tr></table>	A				B				C					C	B	A	→重要度				令和2年度は新たな区域の設定、変更はなかった。
A																							
B																							
C																							
	C	B	A																				
→重要度																							
(16) 教科用図書の採択に関すること	実現度↑	<table><tr><td>A</td><td></td><td></td><td>★</td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr><tr><td colspan="4">→重要度</td></tr></table>	A			★	B				C					C	B	A	→重要度				令和3年度から6年度使用の小学校教科用図書及び令和2年度使用の中学校教科用図書の採択について、6月定例教育委員会で審議した。 重要度Aとし、実現度Aとした。
A			★																				
B																							
C																							
	C	B	A																				
→重要度																							
(17) 文化財の指定及び解除に関すること	実現度↑	<table><tr><td>A</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr><tr><td colspan="4">→重要度</td></tr></table>	A				B				C					C	B	A	→重要度				令和2年度は文化財の指定及び解除はなかった。
A																							
B																							
C																							
	C	B	A																				
→重要度																							

第2 函南町教育委員会の自己点検・評価シート

自己点検・評価の考え方

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定により、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について自己点検・評価を行う。点検・評価シートでは、教育委員会の責任体制を明確化するため、「教育委員会の活動」、「教育委員会が管理・執行する事務」、「教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」に分けた。「教育委員会の活動」では教育委員会会議に係る事項や教育委員研修などの教育委員自身が行っている活動についての点検・評価を行う。「教育委員会が管理・執行する事務」については、函南町教育委員会規則に則り、教育委員会の責任により実行すべき事項について自ら点検を行う。「教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」については、『令和2年度教育要覧』に示されている教育行政の方針「函南町教育大綱」の実現に向けてに基づき、目標、基本方針、施策の柱を設定し点検・評価を行う。

<マトリクス表の見方>
 (実現度)

(重要度)

A ... 概ね達成

A ... 非常に重要

B ... もう少しで達成

B ... 重要

C ... 普通

C ... 普通

大項目 3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目	小項目	細項目	マトリクス表	点検・評価																				
(1) 知性を高め、魅力ある学校づくりの推進	◆ 学びに向かう力を伸ばす学習	(ア) 赤ちゃんから高齢者までの読書活動を推進し、生涯学習のまちづくりに向けて、学びの機会の充実やボランティア等指導者の養成と活用を図ります。	実現度↑ <table><tr><td>A</td><td></td><td></td><td>★</td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="4">C B A</td></tr><tr><td colspan="4">→重要度</td></tr></table>	A			★	B				C				C B A				→重要度				「読書のまち・かなみ宣言」に基づき、赤ちゃんから高齢者までの読書推進を図るため、町立図書館は知識と情報拠点の場として、また図書館におけるボランティアの活用は、学びの機会の充実を図るうえで必要であり、重要度はAとした。 新型コロナウイルス感染症感染防止対策のため、ボランティアの活用は中断したが、新型コロナウイルス地方創生臨時交付金を活用して図書消毒機・空気清浄機等を導入し、来館者が安心して利用できるように環境整備を図った。また、学校への貸し出し用のレファレンス資料を充実し、幼稚園・保育園等への「テーマ貸出」を年間にわたり実施するなど非来館型サービスに努めた。レファレンスサービスや館内本の展示コーナーを増設し情報発信を高めたことなど臨機対応により実現度はAとした。
		A			★																			
	B																							
	C																							
C B A																								
→重要度																								
(イ) 児童生徒の情報活用能力の育成に向け、ICTを活用した教育活動を推進し、授業の改善を図ります。	実現度↑ <table><tr><td>A</td><td></td><td></td><td>★</td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="4">C B A</td></tr><tr><td colspan="4">→重要度</td></tr></table>	A			★	B				C				C B A				→重要度				指導要領にも示され、これからの時代を生き抜く子どもたちに是非とも身につけさせたい力であるため、重要度はAとした。 函南町GIGAスクール構想を立ち上げ、その実現のため、アクセス環境の整備と児童生徒への一人一台端末の配備を行い、新たな教育環境整備を短期間で行ったことから実現度はAとした。		
A			★																					
B																								
C																								
C B A																								
→重要度																								
◆ 勤労観・職業観や郷土愛を育む教育	(ア) 学校・地域・企業等が連携し、職場体験等の活動キャリア教育を進め、児童生徒一人一人に望ましい勤労観、職業観を育成します。また、中高連携により確かな進路指導に取り組めます。	実現度↑ <table><tr><td>A</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>B</td><td></td><td>★</td><td></td></tr><tr><td>C</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="4">C B A</td></tr><tr><td colspan="4">→重要度</td></tr></table>	A				B		★		C				C B A				→重要度				自己実現を目指した進路指導や、キャリア教育については、特化した取り組みの他、様々な場面で取り組むべきことであるため、重要度はBとした。 教育委員会の指導の下、各小中学校では、職業調べや職業講話、職場体験等、計画的に行われる予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染防止対策により、一部実施できなかったものがあるため実現度はBとした。	
	A																							
B		★																						
C																								
C B A																								
→重要度																								
	(イ) 郷土の歴史や文化に対する誇りや愛着を育むため、文化財等を活用した地域に関する教育を推進します。	実現度↑ <table><tr><td>A</td><td></td><td></td><td>★</td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="4">C B A</td></tr><tr><td colspan="4">→重要度</td></tr></table>	A			★	B				C				C B A				→重要度				地域の先人が伝え、残した文化や歴史について、文化財等を用いた「学び」を推進することは、郷土に対する誇りや愛着を育むことに効果的であるため、重要度はAとした。 町内の小中学校では、仏の里美術館を教育資源と位置づけ、地域学習や修学旅行の事前学習の場として、毎年継続して活用している。小学校社会科副読本『函南たんけんたい』を改定し、郷土に関する情報を再編集することにより、最新の情報を元に郷土理解を深める準備ができたことから実現度はAとした。	
A			★																					
B																								
C																								
C B A																								
→重要度																								

大項目 3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目	小項目	細項目	マトリクス表			点検・評価					
(1) 知性を高め、魅力ある学校づくりの推進	◆ 勤労観・職業観や郷土愛を育む教育	(ウ) スポーツ・健康長寿フェスタを実施し、町民の健康づくりを推進します。	実現度↑	A			★	スポーツを通じて、赤ちゃんから高齢者・障がいのある人まで、全ての町民が生き生きとした生活を送るとともに、地域住民の交流や心豊かな暮らしを育むことができる新たな生涯スポーツ社会の実現を目指していることから重要度はAとした。 令和2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大により、スポーツ・健康長寿フェスタは中止、他のスポーツイベントも縮小開催となったことを考慮し、実現度はBとした。			
		B									
	C				C	B	A	→重要度			
	◆ 質の高い教育と教職員の心身の健康を保持増進する環境整備	(ア) 教職員の長時間勤務の改善を図ります。	実現度↑	A				★	教育職員が心身ともに健康で、その職責を遂行するためには、働きやすい環境を整えることが必要であり、決められた勤務時間の中で、授業や授業の準備、児童生徒と向き合う時間を確保することが喫緊の課題であることから、重要度はAとした。 業務改善委員会において、勤務状況の把握とともに、「函南町立学校教育職員の勤務時間の上限に関する方針」を定めたり各学校において定時退庁を促す試みを行うなど取り組んでおり、一定の効果は得ている。よって実現度はBとした。		
		B									
		C				C	B	A	→重要度		
		(イ) 心身ともに健康で「頼もしい教職員」の育成を図り、不祥事根絶に努め、共生社会を支える人権尊重の教育と啓発に取り組みます。	実現度↑	A				★	静岡県教職員研修指針で述べられている「頼もしい教職員」の育成は教育活動に直結するものであり、重要度はAとした。 教職員の定期的な健康診断を実施したり、働き方改革に繋げるため、校長、学校事務、事務局職員が一堂に会す業務改善委員会を開催し、教職員の健康管理に努めており、不祥事についても起こしていない。人権教育の重要度についても、校長会等を利用し指導している。特段問題はなく実現度はAとした。		
		B									
C					C	B	A	→重要度			
(ウ) 教職員の大量交代期を迎え、教職員の資質向上が重要な課題となっています。教職員としての専門性やスキルが求められる中、授業力向上をはじめとする諸課題に対応する研修を行います。	実現度↑	A				★	今日の教育現場の多様化・複雑化する中、教員の専門性やスキル向上は必須であり、重要度はAとした。 県費負担再任用により町内小中学校退職校長が新規採用職員の指導的役割を果たすため配置している。また学校教育課に指導主事を配置して教員向けの各種研修会を企画し、充実を図っているため実現度はAとした。				
B											
C				C	B	A	→重要度				
(エ) 部活動を支援する外部指導者の活用等、運動部活動の在り方と支援について研究します。	実現度↑	A						子どもたちの多様なニーズに合わせた体制作りや教師の多忙化問題等急務の課題であるため、重要度はAとした。しかし、外部コーチなどの活用は行っているものの、外部指導員の導入等函南町単独で取り組むことは難しく、進展していないため実現度はCとした。			
B											
◆ 子供たちの命を守る安全・安心の確保と教育環境の整備	(ア) 子供自らが判断し、危険回避能力を身に付ける防災教育、安全教育を実施します。	実現度↑	A				★	いつ起こるか分からない災害に備え、生きるために自ら判断し行動を起こすことは大変重要であり重要度はAとした。 学校での防災訓練や地域防災の防災訓練に参加、町長部局の企画・立案による防災キャンプの実施などが予定されていたが、新型コロナウイルス感染症感染防止により一部事業が開催できないになったものがあることから実現度はBとした。			
			B								
	C				C	B	A	→重要度			
	(イ) 安心・安全な学校施設の整備のために、教育環境を改善する取り組みを進めます。	実現度↑	A				★	児童・生徒の安全安心な教育環境を確保するため、第六次函南町総合計画に基づいて、これまでも各学校校舎、体育館、園舎の耐震補強、大規模改修工事を進めおり、今後も計画的に実施が必要であること、また新型コロナウイルス感染症感染防止対策は必須事項であるため、重要度はAとした。 令和2年度は西小学校及び東中学校トイレの洋式化、桑村小学校体育館への新規トイレ整備、全小学校の防犯カメラ設置、また、耐震性に支障があるポンプ室やごみ置場など学校施設の改修、感染症予防などを実施したことから実現度はAとした。			
			B								
			C						C	B	A

大項目 3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目	小項目	細項目	マトリクス表	点検・評価																
(1) 知性を高め、魅力ある学校づくりの推進	◆幼児教育の質の向上	(ア) 家庭のニーズや保護者の状況に応じた支援により家庭の教育力向上を図り、健康づくり課、子育て支援課、教育委員会等、関係機関と連携し、幼児期教育の充実に努めるために、「幼児教育センター」を新たに設置し、小・中学校への円滑な接続を図ります。	実現度↑ <table><tr><td>A</td><td></td><td></td><td>★</td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="3">C B A</td><td>→重要度</td></tr></table>	A			★	B				C				C B A			→重要度	就学前からの幼児教育を充実させることは子供の成長に大きく関わることで、重要度はAとした。 令和2年4月1日付けで幼児教育センターを学校教育課内に設置し、元学校長や元幼稚園の園長経験職員を配置。幼稚園や保育園を訪問し、就学支援に結びつけたり、就学前健診の確実な受診を目指した取り組み、保護者の希望によりことばの教室を実施するなど対応できていることから実現度はAとした。
	A			★																
B																				
C																				
C B A			→重要度																	
◆特別支援教育の推進	(ア) 「徳・知・体」のバランスのとれた「生きる力」の育成に取り組み、発達障がい等を含めた幼児、児童生徒の教育的ニーズに対応し、教育の各ステージで指導と支援の充実に努めます。	実現度↑ <table><tr><td>A</td><td></td><td></td><td>★</td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="3">C B A</td><td>→重要度</td></tr></table>	A			★	B				C				C B A			→重要度	それぞれのステージにおける子供の教育的ニーズに対応した指導、支援を充実させ、「生きる力」を育むことの重要性を鑑み、重要度はAとした。発達障害等を抱えた子供に対して、特別支援学級、通級指導教室、ことばの教室が整備できている。令和2年度からの新支援学級、中学通級指導教室の実施、さらに幼児教育センターが保幼小中の「接続カリキュラム」の整備を進めていることから、実現度はAとした。	
A			★																	
B																				
C																				
C B A			→重要度																	
(2) 未来を拓く多様な人材の育成	◆多様な学習機会の提供	(ア) 新しい時代を展望した教育行政の推進に向けて、実効性のある施策が展開できるよう各部局と一層の連携を図ります。	実現度↑ <table><tr><td>A</td><td></td><td></td><td>★</td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="3">C B A</td><td>→重要度</td></tr></table>	A			★	B				C				C B A			→重要度	町長・町長部局との連携は、町の教育行政推進上密接かつ重要であり重要度はAとした。 年2回総合教育会議において、町長と各教育施策についての協議を実施した。また幼稚園、保育園を所管する子育て支援課や交通安全や防災を所管する総務課他、他部署と情報共有や連携のうえ、各種事業を展開した。よって実現度はAとした。
		A			★															
B																				
C																				
C B A			→重要度																	
(イ) 地域の教育力を園・学校に生かすために「函南町地域学校協働本部」に地域学校協働活動推進委員を配置し、専門性をもったボランティアの発掘や紹介に努めます。	実現度↑ <table><tr><td>A</td><td></td><td></td><td>★</td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="3">C B A</td><td>→重要度</td></tr></table>	A			★	B				C				C B A			→重要度	地域学校協働活動は、地域行事や学習支援、イベントなど地域ボランティア協力によって成り立つ事業であり、地域住民等の積極的な参加を得ることができなければ成り立たないため、重要度はAとした。 地域の方の紹介や地域へ募集チラシを配布するなど、人材の発掘に努めている。よって実現度はAとした。		
A			★																	
B																				
C																				
C B A			→重要度																	
(3) 社会総がかりで取り組む教育の現実	◆学校と地域の連携・協働の充実	(ア) 園・学校における教育推進の重点に「交流」の視点を位置付け、「多様な学び」や「体験活動」の充実と活性化を図ります。	実現度↑ <table><tr><td>A</td><td></td><td></td><td>★</td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="3">C B A</td><td>→重要度</td></tr></table>	A			★	B				C				C B A			→重要度	開かれた園・学校づくりを進める上で、「交流」の視点を重視して多様な学びや体験活動を充実させることは重要であり、重要度をAとした。 それぞれの園や学校では、相互に積極的な情報提供をしている。例年、丹那小学校では「玄岳遠足」や「オール丹那運動会」等を実施、桑村小学校では日常的な登下校の見守り、放課後補充学習「桑村道場」等を実施するなど、地域学校協働本部事業を活用し地域の教育力を学校等へ提供できる環境整備を進めているが、新型コロナウイルス感染症感染防止対策で事業が中止又は縮小により実施できないものがあつた。よって実現度はBとした。
		A			★															
B																				
C																				
C B A			→重要度																	
(イ) 各区等での地域活動に児童生徒を積極的に参加させ、幅広い交流活動を通して、互いの理解と信頼を深め合い、成長できる教育風土を醸成します。	実現度↑ <table><tr><td>A</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td></td><td></td><td>★</td></tr><tr><td colspan="3">C B A</td><td>→重要度</td></tr></table>	A				B				C			★	C B A			→重要度	学校生活だけでは体験できない地域での様々な活動に参加することは、児童生徒の「人間力」の形成において有意義であるため、重要度はAとした。これまで地域活動への児童生徒の参加が定着しており、多くの児童生徒が区の防災訓練や祭典、体育祭、清掃活動などの区の活動に参加していたが、新型コロナウイルス感染症感染防止対策により、催し物自体が開催不可となったため、実現度はCとした。		
A																				
B																				
C			★																	
C B A			→重要度																	

大項目 3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目	小項目	細項目	マトリクス表	点検・評価																				
(3) 社会総がかりで取り組む教育の実現	◆学校と地域の連携・協働の充実	(ウ) 平成29年度に指定した丹那小学校、桑村小学校の取り組みを元に小中学校全7校を「コミュニティスクール」とします。地域とともにある学校づくりをテーマに、目標やビジョンを共有し、地域と一体となって子供たちの豊かな成長を育む教育活動を推進します。	実現度↑ <table><tr><td>A</td><td></td><td></td><td>★</td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="3">C B A</td><td></td></tr><tr><td colspan="4">→重要度</td></tr></table>	A			★	B				C				C B A				→重要度				地域とともにある学校づくりを実現するために、小中学校でのコミュニティスクール導入は重要であるため重要度はAとした。 町内全小中学校を令和2年度からコミュニティスクールとし、学校と地域住民からなる協議会が目標やビジョンを共有し一体となって豊かな成長を育む教育活動を進めているため、実現度はAとした。
		A			★																			
	B																							
	C																							
C B A																								
→重要度																								
(エ) 地域協働学校活動推進員を置き、コミュニティスクールと地域学校協働本部事業のコーディネートを行います。	実現度↑ <table><tr><td>A</td><td></td><td></td><td>★</td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="3">C B A</td><td></td></tr><tr><td colspan="4">→重要度</td></tr></table>	A			★	B				C				C B A				→重要度				地域と学校との持続可能な協働体制を築くためには、地域協働学校活動が不可欠であり、また推進員が重要な役割を担うため、重要度はAとした。 学校運営協議会の会合に地域学校協働活動推進員が参加し、地域と学校をつなぐコミュニティスクール運営のコーディネートの役割を果たしているため、実現度はAとした。		
A			★																					
B																								
C																								
C B A																								
→重要度																								
◆チームとして児童生徒を支援する体制づくり	(ア) 児童生徒が自他を大事にする態度や行動力を育み、いじめ、不登校等の解消、家庭に問題を抱える児童生徒への対応のため、教育相談体制の充実や教職員・学校の対応力向上に努めます。	実現度↑ <table><tr><td>A</td><td></td><td></td><td>★</td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="3">C B A</td><td></td></tr><tr><td colspan="4">→重要度</td></tr></table>	A			★	B				C				C B A				→重要度				不登校傾向を示す児童生徒は年々増加しており、多様化する問題傾向への対応は急務である。そのための相談体制の充実や学校の対応能力の向上は必須の内容であるので重要度はAとした。函南町いじめ防止等生徒指導連絡協議会及び情報交換会を年間5回開催し予防、対策等について協議し不登校や家庭に問題を抱える児童生徒の教育相談を教育支援センターが行い、学校と連携しそれぞれの児童生徒に寄り添った対応ができており、実現度はAとした。	
	A			★																				
B																								
C																								
C B A																								
→重要度																								
	(イ) 「函南町いじめ防止等生徒指導連絡協議会条例」および「同運営要綱」に則し、いじめの未然防止を第一目標とし、早期発見、早期対応、早期解決を図ります。	実現度↑ <table><tr><td>A</td><td></td><td></td><td>★</td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>C</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="3">C B A</td><td></td></tr><tr><td colspan="4">→重要度</td></tr></table>	A			★	B				C				C B A				→重要度				命を守る教育についての重要度は、言うまでもなくAである。いじめの「重大事態」に発展する事案はなかった。各校にいじめの定義や、早期発見、早期対応、早期解決の大切さが浸透し、教育委員会事務局、教育支援センター等と連携し組織的な対応が実践できているため、実現度はAとした。	
A			★																					
B																								
C																								
C B A																								
→重要度																								

全 体 評 価

今回の教育委員会の自己点検・評価は第14回目であり、令和2年度から新たにスタートした教育大綱をもとに実施した。

大項目1の教育委員会の活動については、教育委員会会議を中心に教育委員会のなすべき事項の確認をし、実施状況の点検を行ったことにより、現状を把握したうえでの活動を行うことができた。

大項目2の教育委員会が管理・執行する事務については、項目ごとの事務の点検と評価により事業の執行状況の確認ができた。

大項目3の教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務の点検・評価を行うことにより、事務局が執行すべき事務の実施状況が確認でき、新型コロナウイルス感染症感染防止による影響を受けた事業を除き、学校教育課、生涯学習課共に概ね計画通りに事業が執行されていることが確認できた。

教育委員会の活動の状況を確認し、町民が満足する教育行政を推進するため、次年度以降も点検・評価を実施していきたい。

元函南町立桑村小学校長
田方地区学校生活協同組合専務理事
学識経験者 木下 正則

1 教育委員会の活動

新型コロナウイルスの感染予防対策のため、「教育委員会の活動」が例年より制限される中、教育委員会と保護者・地域、事務局、首長、及び教育委員の研修等の活動が滞ることなく行われたことは評価できる。直接顔を合わせて意見交換したり活動したりすることで、きめ細やかな連携がとれると思う。新型コロナウイルスの影響で、直接会う機会は減っていると思うが、リモート会議や感染対策の徹底をはかりながら、なるべく顔を合わせる機会を多くとって、連携を図っていただきたい。

特に、函南町のトップである町長との連携はとても大切である。地域や保護者の声、各校の児童生徒や教職員の様子等、函南町の教育の実態を知る機会をなるべく多くとってもらいたいと思う。そんな意味で、直接学校や園を訪問し、子どもたちの様子を観察したり、教員と語り合ったりする機会は貴重である。全ての学校や園を訪問し、日頃のこどもたちや教職員の様子、学校内外の教育環境、直接訪問することで確かな現状と課題を把握し、改善に向けた対策が見えてくるはずである。

2 教育委員会が管理・執行する事務

コンプライアンスの重要性が益々高まっている昨今、特に教職員や行政のコンプライアンスには細心の注意を図りたい。そうした中で、自己評価が全てAとなっていることは評価できる。しかし、どんなに気をつけていたとしても過失や事故はおこるものである。日頃から緩みが出ぬよう努力を継続してほしい。

教職員の不祥事は、あってはならないことであり、学校だけに任せることなく教育委員会も含め繰り返しの研修や指導を実施したい。そして、教職員一人一人が自分事として捉えられるような心に響くものになるようなものを考えてもらいたい。また、旭川市におけるいじめ問題についても、真実はわからないが、教育委員会がいじめを隠蔽したような報道になっており、初期の対応のまずさが混乱を招いているように思う。まずは、真実を学校と教育委員会が把握・共有し、一枚岩となって素早い対応を図らねばならない。行政と教育機関の不断の連携及び危機管理体制を望む。

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

教職員の働き方改革が進む中、中学校における部活動は勤務時間の超過、子ども・保護者とのトラブル等、負担に感ずる教職員が少なからずいる。部活動の改革が函南町単独では難しいとして評価がCとなっているは問題である。難しいことはわかるが、県や他の市町と連携をとりながら、何か始めなければ問題の先送りをするだけで何も進まない。働き方改革とは、「生産性の向上を図ることである」とある講演で聞いたことがあるが、部活動だけでなく学校の業務の全体の見直しを行わなければ、教員をめざす優秀な人材が出てこなくなり、学校教育の質の低下を招くことにもつながる。

I C Tの活用、地域連携による学校支援体制の充実、予算的に厳しい制限もあると思うが、教育現場の要望を踏まえた力強い支援をお願いしたい。さいわい函南町では全校がコミュニティ・スクールに指定され研究を進めているとのこと。地域と学校がともに歩む仕組みが完成するのは時間がかかると思うが、スクールアドバイザーなどの実践がある函南町には、地域連携の下地があると思う。学校、保護者、地域、教育委員会がしっかりとスクラムを組んで、チーム函南として一歩ずつ改革を進めていくことを望む。

函南町校長会会長（函南町立東小学校長）

学識経験者 西川 真澄

1 教育委員会の活動

新型コロナウイルス感染症感染防止対策のため、前年度の3月に引き続き、令和2年4月9日から5月31日まで休業という未だかつて経験したことのない状況でスタートした年度であったが、教育委員会が町の教育行政の推進役として支えてくださったことで、学校等教育現場では大きな混乱なく教育活動を展開することができた。

教育委員会主催行事や学校行事がコロナ関連で中止や縮小となり現状を把握する機会が減ってしまったことは残念なことであったが、総合教育会議をはじめとして各種会合や学校訪問などが状況に応じて適切に行われ函南町の教育の充実につながっていた。この困難な状況を機に連携面において業務改善の観点からもより有意義で実効的な方法を模索していくきっかけにしていきたい。

2 教育委員会が管理・執行する事務

第六次函南町総合計画の基本理念に基づき定められた新たな教育大綱の実現に向けた教育がスタートしている。函南町の教育推進の重点が明確に定められ、それに従って校長会をはじめとする各種研修会を計画的に実施することで教育関係職員のスキルアップにつながっている。今後もキャリアステージや担当業務に応じた研修の企画・運営を進めてほしい。

新型コロナウイルス感染症地方創生臨時交付金、公立学校情報機器整備費補助金に関しては、町の財政負担との兼ね合いで難しい部分も多かったはずであるが、適切な予算措置が実施され各学校・園で有効に活用されている。先が見えないコロナへの対応や新たな教育の流れに対しての補助が今後も続くことも予想されるので、引き続き現場との連携を密にした対応を望んでいる。

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

I C Tを活用した教育活動の推進に関しては、函南町G I G Aスクール構想を立ち上げ、一人一台端末の配備を始め、新たな教育環境整備を短期間で進めていただいたことは大いに評価できる。現場ではこれを有効に活用し授業改善を図っていけるよう研修を進めていきたい。

令和2年度から学校教育課内に設置された幼児教育センターは、関係機関との連携をもとに、保幼・小・中の円滑な接続が図られている。幼児期教育の充実、特別支援教育の推進と学校教育の基盤となる部分には今後も手厚い対応の継続をお願いしたい。

町内小中学校の全てが、令和2年度からのコミュニティスクール化された。各校の学校運営協議会に地域学校協働活動推進員が参加することで新たに組織を立ち上げた学校も順調に活動を進めることができている。コーディネート役の推進員を増やすなどして、さらなる活動の活性化を目指していきたい。

函南町立西小学校PTA会長

学識経験者 浅井 秀明

1 教育委員会の活動

コロナ禍であっても毎月の定例教育委員会、2回の総合教育会議を開催し協議がなされたことはとても評価できる。

経験したことのない状況に対して、今まで以上に町長や教育現場と連携が重要となり、情報の共有や問題点の解決等多くのご苦労があったと思われる。感染防止対策を講じながらの運営に心より感謝したい。今後も教育現場と連携を密にし、各校の状況に則した対応をお願いしたい。

「研修会への参加状況」及び「所管施設の訪問」については、新型コロナウイルス感染症感染対策のため制限があったことを鑑みると実現度がBとなってしまったことは致し方ない。今後もwebを活用し、よりスムーズでオープンな活動を期待する。社会教育及び社会体育施設がこれからも安心安全に利用できるためにも訪問は重要と考える。

2 教育委員会が管理・執行する事務

「県費負担教職員の服務の監督の一般方針を定めること」について、昨今教職員の不祥事のニュースを耳にすることが多くなっていることから、適切な指導が行われることにより子どもたちが安心した学校生活を送れていることに感謝したい。

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

「学びに向かう力を伸ばす学習」において「図書のまち・函南宣言」を推進するための取り組みが評価できる。今後も函南町民の学びの場としてオンライン図書館の導入など多様化するニーズに対応していただくことを期待したい。

函南GIGAスクール構想のもと、児童生徒一人一人に端末の配備やそれに向けての準備等多くのご苦労があったと思われる。短期間でハード面の充実が取られたことはとても評価できることであり、今後は不登校など全ての子どもが学校外であっても平等に授業を受けられるような環境整備が進むことを期待したい。

質の高い教育を行うためにも労働環境の改善はとても重要と考える。ICT教育の導入などの新たな取り組みや、児童生徒個々に合わせた教育が求められる昨今、教職員に求められる専門性や資質は以前より格段に高まっていると思われる。業務の分担や最適化が行われ、教職員の心身が健康な状態で子どもたちと向き合えるよう労働環境の改善が行われることを期待したい。

第六次函南町総合計画に基づき、学校施設の整備、環境の改善が順調に行われていることに感謝したい。学校内での訓練だけでなく地域との連携を強固にし、いつ起こるか分からない災害に対して準備、行動ができるような取り組みがあることを望む。

命を守る、命の大切さを伝える教育を行うために各組織と連携をとり、子どもたちに寄り添った対応ができていることに感謝をしたい。自分を大切に、他人を尊重し、地域を愛する子どもたちが増えることを願う。

学校と行政、地域が連携し、学校教育を充実させ魅力あるまちづくりに繋げていただきたい。

第4 総合評価

令和元年度に世界的に流行した新型コロナウイルス感染症（以下「感染症」という。）は、その後も世界中で感染拡大が広がり、国内においても感染拡大する事態となりました。

令和2年4月9日から令和2年5月31日まで国から小中学校へ休業要請があり学校活動の中断、また生涯学習関係施設においては、施設利用制限が余儀なくされました。その後、感染予防対策として新しい生活様式のスタイルが示され、密にならない学校運営や公共施設利用対策が求められました。学校等教育現場においては、かつて経験したことのない対応を教職員、教育委員会が関係機関等と互いに協力し知恵を出し合い、乗り越えてきました。こうした取り組みが功を奏し町内での感染拡大は抑えられました。一方、感染症感染防止対策としてICT化がより一層進み、学校現場においては「函南町GIGAスクール構想」が加速し新たなステージへの移行期となる年度となりました。そうした中で当教育委員会は、不易流行を意識して教育行政を進めてきました。

以上のことを振り返り、令和2年度の教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、自己点検及び評価を実施し、その結果を今回の報告書にまとめました。

「教育委員会の活動」については、毎月開かれる定例教育委員会を感染症感染防止に配慮しながら開催し教育に関する重要事項を審議いたしました。また、教育委員会として学校教育現場を把握することが重要と考えており、町内小中学校、幼稚園、保育園及び生涯学習関係施設の視察を行い、各校（園）長や職員等から説明を受け、感染症感染防止対策を含む安全管理体制や教育現場の充実に活かしました。令和2年度からスタートした新たな教育大綱を柱として、町の総合教育会議を2回実施し、町長と町の教育の方向性を協議いたしました。

「教育委員会が管理・執行する事務」については、項目を個別に点検・評価することにより、事業などの執行状況を確認し成果を検証いたしました。学校教育・社会教育、文化、スポーツとそれぞれの事業において、安心安全な施設の管理や整備、またソフト面での工夫や改善に努めました。

施設面では、耐震性で指摘のあった構造物等の改修、トイレの洋式化整備、ICT教育を多様化するための高速大容量ネットワークの構築、また各種生涯学習課が所管する貸出施設等の改善・改修を計画的に進めました。感染拡大防止対策事業には、新型コロナウイルス地方創生臨時交付金等を活用し、消毒薬配備や施設の換気対策、関連備品の購入など学校現場や各種施設の安全を施してきました。更に国が令和元年度から5年間でハード整備を進めようと計画した「GIGAスクール構想」が前倒しとなりオンラインを活用した授業や学習を行うため、児童・生徒に1人1台のコンピューター端末整備が進み、全ての児童生徒に端末を配付することができました。

今後は、「函南町GIGAスクール構想」に基づくICT教育の充実、授業力向上に資する働き方改革や研修機会の提供、幼児教育センターを核とした保幼小中接続連携の強化、地域力を活かしたコミュニティスクールの実践により、質の高い教育を推進して参ります。さらに学校及び教育支援センター並びに関係機関と連携し支援が必要な児童への対応によって、多様化する子供たち一人一人に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる学校教育と併せて町民の社会教育、文化、スポーツの推進と生涯学習社会の成熟を目指して参ります。また、各種施設の新型コロナウイルス感染症感染防止の徹底と安全性や快適さに配慮した施設等の環境整備に努めて参ります。

最後に、学識経験者の皆さまにおかれましては、お忙しい中、教育委員会の自己点検・評

価に対する貴重なご意見をいただきありがとうございました。いただいたご意見を参考に、函南の教育・文化に責任を持つ組織として、変革期を迎えた教育行政をより質の高い教育、安心安全快適な環境づくり、生涯に渡り学び続けることができる函南町を目指していきます。今後とも、教育委員会の活動に忌憚のないご意見を賜りたいと考えております。

函南町教育長 久保田 浩子